
プレスリリース

ロンドン、2021年11月24日午前0時1分

2021年と2022年のプラチナは余剰。在庫取り崩し、供給量増加、投資の低迷が旺盛な需要を相殺

- 2021年と2022年の予想供給量は高水準。2020年以降の半完成品在庫の処理が進み、鉱山生産量は横ばいではなく増加
- 半導体不足にもかかわらず、自動車業界におけるプラチナ需要予想は2021年14%増、2022年20%増
- グローバル・リスクを背景に、地金・コイン需要は2021年第3四半期に25%増加、2022年は10%増加が予想される。一方、ETF保有高と取引所在庫は減少

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は本日、2021年第3四半期の *Platinum Quarterly* を発表しました。この発表では2021年通期および2022年第1四半期の予測が修正されました。

自動車、宝飾品、工業用アプリケーションを合わせた世界のプラチナ総需要は2021年第3四半期も前年比で増加し、直近3四半期に続き増加傾向がみられました。一方、投資需要の減少に加え、精錬所からの供給量がほぼ過去最高となったことにより、当四半期の市場需給は18トンの余剰になりました。2021年の予想は現在、24トンの余剰、2022年は20トンの余剰に修正されています。

未処理の受注残により、供給水準が上昇

鉱山供給は、2020年の新型コロナウイルス関連の操業停止から徐々に回復し続けました。さらに、昨年のアングロ・アメリカン社のプラチナ転換プラント（ACP）の閉鎖中に累積した半完成品17トンの処理が、2021年第3四半期に加速し、精製品供給が約4トン増加した。これにより、当四半期の鉱山供給は前年比13%（6トン）増の49トンになりました。2021年第3四半期は世界のリサイクル量が9%（1トン）減少しましたが、当四半期の総供給は前年比7%（4トン）増加しました。

2021年通期は、鉱山からの供給は前年比25%（38トン）増の191トン、総供給量は同19%（40トン）増の252トンになると予想されています。2022年については、総供給が2020年からの半完成品在庫の積み残し処理の恩恵を受け、さらに、操業の安定性が改善するにも関わらず、2019年比でほぼ横ばい（+1%、+0.5トン）の256トンと予想されています。

自動車需要は半導体不足をよそに、2021年に14%、2022年にさらに20%増加する見通し

半導体納品までのリードタイムが過去最長になっているため、自動車メーカーは2021年第3四半期の生産予測を大幅に修正しました。乗用車生産は現在7,700万台と予想されています。これは新型コロナウイルスの大流行の影響を受けた2020年比でわずか3%増で、2021年の年初予想より約1,000万台減少しました。

ただし、この状況でも、自動車のプラチナ需要は2021年に14%（11トン）増加する見通しです。これは、厳格化する排ガス規制に適合するための自動車触媒におけるプラチナ含有量の増加、および、パラジウムの代替としてのプラチナ需要が今年6トン増加すると予想されていることによって裏付けられています。自動車生産台数が8,500万台と、10%増加にとど

まり、当初予想の 9,300 万台を大きく下回っているにもかかわらず、こうしたトレンドは、自動車需要が 20% (17 トン) 増加するとみられる 2022 年にかけて続く見通しです。

北米ではハイブリッド車およびマイルドハイブリッド車の生産が大幅に増加したこと、メーカーが小型車よりも SUV やピックアップトラックを戦略的に重視したことによって、自動車需要が 2021 年に 31% (3 トン) と著しく増加すると予想されています。中国では、「国 6」と共に、重量車両については中国 VIa が段階的に導入され、需要が 42% (4 トン) 増加するでしょう。両地域におけるプラチナのパラジウム代替需要も、こうした大幅な需要増に貢献しました。

ETF および取引所需要が減少した一方、地金およびコイン需要は増加

2021 年第 3 四半期の投資需要は 8 トン減少しました。取引所倉庫在庫は 5 トン、ETF 保有高は 6 トン減少しました。前四半期に見られたように、ETF 保有高の減少要因は、南アフリカのファンドが、高配当利回りを目当てにプラチナ鉱山株式に乗り換えたことです。一方、おそらく中国の強い輸入により、当四半期のリース率は高止まりしました。これがニューヨーク・マーカンタイル取引所からの流出を促し、2021 年第 3 四半期は 17 トンに減少しました。世界の ETF 保有高は、2021 年に 1 トン減少しますが、2022 年には 2 トン増加すると予想されています。

2021 年第 3 四半期の地金およびコイン需要は、25% (1 トン) 急増し、4 トンとなりました。これはインフレを含むグローバル・リスクが依然として高いという投資家の懸念を反映しています。地金およびコイン需要は、2020 年の極めて高い水準から 38% 減少しますが、2021 年に 11 トンの高水準に達する見込みです。2022 年の需要は、10% 増加し、13 トンになると予想されています。これは、北米および日本で個人投資家の買いが増加することが主因です。この 13 トンという予想は、2020 年の過去最高の 18 トンは下回りますが、それでもパンデミック直前の 7 年間の地金およびコインの平均需要を 50% 以上上回っています。

工業用需要は、2021 年に 26% 急増、2022 年は 2019 年を超える見通し

2021 年第 3 四半期の工業用需要は前年比 20% (+3 トン) 増加しました。第 4 四半期にはやや減速するものの、通期の需要は 2020 年比 26% (16 トン) 増加すると予想されています。この成長は、経済活動の改善が続き、新規ファイバーグラスおよび LCD タンク施設が中国で設置されることと、石油需要が 65% (2 トン)、ガラス需要が 72% (9 トン) 増加するとの見通しに基づいています。

2022 年は石油生産能力の増強によってプラチナ需要が増加しますが、ガラス製造におけるプラチナの使用量は 50% 以上減少するとみられます。これは、2020 年と 2021 年の大規模な能力増強は繰り返されないと予想されるためです。こうした劇的な減少にもかかわらず、プラチナの工業需要は全体で 2019 年の水準を依然として上回っています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Paul Wilson (ポール・ウィルソン) CEO は以下のように述べています。

「世界経済は回復を続けており、IMF は 2021 年の成長率を 5.9% と予測しています。その結果、プラチナは恩恵を受ける見通しです。半導体不足などのコロナ禍の影響の残りは、2021 年と 2022 年のプラチナ需要を阻害する要因となりますが、それがなければ、いずれの年も需要はさらに高くなるでしょう。2020 年の影響が剥落し、2020 年に蓄積された半加工素材の残りが処理されることから、2022 年は重要な年となります。需要への阻害要因が解消される速度は、プラチナ市場の需給に大きな影響を与えるでしょう。2023 年は素晴らしい年になる見通しです」

「グローバル・リスクが長期化する中、プラチナは投資家にとって引き続き代替投資先となっています。当四半期に地金・コイン需要が 25% 急増したことは、上昇したリスクに対する投資家の行動を反映しており、これは来年も続く見通しです。同様に、様々なファンドによ

る ETF から鉱山株式への入れ替えは、資産クラスとしてのプラチナに対する信認が失われたのではなく、投資家が現在どのようにリターンを確保しているかを表しています。投資需要が1年以内に30トン超の変化を見せたため、2022年の投資需要予想は当然ながら保守的な9トンとなっています」

「COP26で取り上げられたように、世界のリーダーたちは、グリーン水素が脱炭素化に向けた最善策の一環として果たす役割が重要であることを確信しています。プラチナはグリーン水素を製造する電解と、燃料電池電気自動車の動力となる水素燃料電池の両方に使用されるため、世界のネットゼロ目標を達成するために、水素の重要な貢献を可能にする鍵となる戦略的役割を果たしています」

プラチナ需給バランス (トン)	2019	2020	2021年度予想	2022年度予想	2021年度予想/2020 年成長率 (%)	2022年度予想/2021 年成長率 (%)	2020年第3四半期	2021年第2四半期	2021年第3四半期
供給									
製錬高	190	155	192	193	24%	0%	47	49	50
南アフリカ	137	103	142	140	38%	-1%	33	37	38
ジンバブエ	14	14	15	14	4%	-1%	4	4	3
北米	11	10	10	11	-7%	13%	2	2	2
ロシア	22	22	20	21	-8%	3%	6	4	5
その他	5	6	6	6	3%	-3%	2	2	2
生産者製在庫における増減 (+/-)	-7	11	1	1	N/A	N/A	-3	+1	-1
鉱山からの総供給量	190	153	191	193	25%	1%	43	49	49
リサイクル									
自動車触媒	66	60	61	63	3%	3%	16	15	15
宝飾品	49	45	46	48	4%	4%	12	12	11
工業	15	13	13	13	1%	-2%	4	3	3
工業	2	2	2	2	3%	1%	0	0	0
総供給量	256	212	252	256	19%	1%	59	65	64
需要									
自動車	88	74	84	101	14%	20%	20	20	19
自動車触媒	88	74	84	101	14%	20%	20	20	19
ノンロード	†	†	†	†	†	†	†	†	†
宝飾品	65	57	60	59	5%	-1%	16	14	15
工業	66	62	78	67	26%	-13%	16	21	19
化学	22	18	20	19	11%	-6%	4	7	5
石油	7	3	6	6	65%	8%	1	1	1
電気	4	4	4	4	6%	0%	1	1	1
ガラス	7	13	23	11	72%	-52%	4	5	5
医療	8	7	8	8	4%	3%	2	2	2
その他	18	16	17	20	12%	12%	4	4	4
投資	39	48	7	9	-86%	34%	30	6	(8)
地金、コインの増減	9	18	11	13	-38%	10%	3	3	4
ETF保有高の増減	31	16	-1	2	N/A	N/A	16	1	-6
取引所在庫の増減	-1	14	-3	-5	N/A	N/A	11	2	-5
総需要	259	240	228	236	-5%	3%	81	61	45
残存量	-3	-28	24	20	N/A	-17%	-22	4	18
地上在庫	111**	82	106	126	29%	19%			

出典: Metals Focus 2019 - 2022

注記:

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫3,650 koz (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

メディア関連のご要望は、Elephant Communications にお問い合わせください
Guy Bellamy / Jim Follett / Charlotte Raisbeck
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記:

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。白金族金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者により2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所 : World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の1つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場に特化し、調査、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは8つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量(精製済みオンス)の72%~77%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の31%から43%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の24%となっています(過去5年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の28%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去5年間は総需要の0%から20%を占めています(投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く)。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください